

## 長寿会の理念のもと ご利用者やご家族に頂いた 励ましの言葉や笑顔に支えられて

包括支援センター 主任

府川 祐子

昭和 62 年入職

相談室・機能訓練室 主任

本城 裕美子

平成 11 年入職

介護課 介護職員

川口 三起子

昭和 60 年入職

介護課 課長

諸星 清

平成 6 年入職

ケアマネ室 主任

川瀬 美紀

平成 6 年入職

### 永年勤続者座談会 座談会 参加メンバー

聞き手：広報委員会

「社会福祉法人 長寿会」は開設から50年を超えました。地域住民の方々を初めとした基盤に、とても多くの人々の優しさと温かさに包まれて今日も私達は働いています。

そんな中20年以上に渡り陽光の園を支えてきた5人の職員が集まり、座談会を開催いたしました。介護福祉に携わる中での喜びや、長く働いているからこそ知っている“陽光の園”の裏話?など、貴重な話を聞きました。

介護の世界に入ったきっかけを教えてください。

**川口** 就職をどうしようと迷っていたら、たまたま学校の求人募集に陽光の園があったんです。面接で当時の園長に「あなたは身体が小さいから有料のほうがいいんじゃないか」と言われたんですけど、どうしても陽光の園で働きたいと思って就職させてもらいました。

**府川** この厨房にアルバイトに来ている友人がいて「対人援助みたいな事をやりたかったら、老人ホームみたいな選択肢もあるんじゃない?」って言われて、介護をやろうとかそんな気持ちがあったら就職したんじゃないかと、現場で一から教えてもらった感じですね。

**諸星** 僕らの時にはもう介護士の専門学校があったから、進路で迷っていた時にうちの親戚が「これから高齢者の時代になるから介護をやってみたら?」って。それで介護の学校に見

学に行ったら、学校の校長先生がとっても素晴らしい人で、私の前で泣きながら切々と“看取り”について話をしてくれたんですよ。「こういう大人になれたらいいな」と思ったのが専門に入ったきっかけ。陽光に入ったきっかけは、実習一年目の時に陽光の園に実習に来させて頂いて。悩んで就職しました。

もちろん実習先で(府川さんを指しながら)先輩が良かったっていうのもあった。可愛がって頂けたし、こういう所だったら働くのもいいかなって陽光の園に就職しました。まあ楽しかったですよ、実習。

諸星 清



川瀬

私はおばあちゃんも一緒に暮らして。将来の事で高校の先生に相談したら「おばあちゃんがいるんだしたら、介護の専門学校が出来始めたから介護士とかいいんじゃない?」って言われて。やっぱり人の役に立ちたいし、おじいちゃん、おばあちゃんに自分が出来る事をしてあげたいなって思って介護の専門に進学して。その専門の時に、諸星さんと一緒にここに実習に来て。他にも2か所実習に行ったんだけど、陽光は凄く温かくて雰囲気も良かったので就職しました。

本城

私は中学からずっと福祉系の仕事を希望していて、ボランティアも行ったりして、お年寄りに接する仕事がしたいって思って。中学・高校は勉強が凄く嫌いだったんだけど、短大に行ったら福祉の勉強が凄く面白くなって。就活中にたまたま陽光の園に電話したら「明日試験だよ」って言われて、急いで帰ってきて試験を受けた感じ。今となってはここに決まって良かったなと思ってる。

広報

それぞれ様々なきっかけや介護に対する思

いを抱き、偶然が運命的に重なりあって陽光の園で働く事となったようです。法改正や時代の移り変わりにより「介護」に対する認識は年々変化しています。しかし介護を目指すきっかけとなる思いは、昔も今も変わっていないように感じました。

「陽光の園のいい所を教えてください。」

府川

施設が味方になってくれる所かな。最後は必ずバックアップしてくれるから、職員同士もなんだかんだ仲がいいし、何かあってもギクシャクせずに仕事はしてるよね。他の施設の職員さんも「陽光の園はアットホームよね」って言ってくれる。



本城

勉強途中の時は自由にさせてもらえて。意見も言わせてもらえるし、聞いてもらえる。先輩たちも「こうしたほうがいいよ」ってアドバイスしてくれた環境だった。

川瀬

私も外のケアマネさんがいいねって言うてるのを耳にします。私自身が思ういい所は話を聞いてくれる事。話を聞いて、それを受け止めてくれた上でアドバイスをしてくれる。そういう体制がしっかりしてるよね。

川口

30年間私をここで働かせてくれる所かな。ダメ出しもいっぱいされるけど、その分カバーもしてくれる。「出来るの当たり前でしょ」って突き放すんじゃないかと、丁寧に丁寧に教えてる。それは今も昔も変わらないかな。凄く暖かいと思う。

諸星

40歳の時、丁度仕事の折り返しじゃないで

すか。20歳で働き始めて、定年まで20年。これから20年どうしていこうかなって。目的が見えなくなった時に“創立35周年記念夢~長寿会の軌跡~”っていう本があって、それでこの歴史を読み返した。その中にこの施設の良さが凝縮されてるなって思った。主にはお年寄りが生活をする距離かな。家族関係とご利用者の輪とか愛情の距離が維持出来ている。ここの創設者の想いがしっかりとしているのが陽光の良さだし、それが受け継がれてると思う。陽光の園の理念もそうなってるしね。

**広報** 介護士、ケアマネージャー、相談員、栄養士、看護師。職種により日々の業務内容はそれぞれ異なります。ご利用者、そしてそのご家族が必要とする介護は何か、携わる職員全員が一致団結するために、サービスを追求しその提供に努められるよう心掛けています。職員同士の信頼関係と、風通しのいい職場環境を築き続ける事が、より充実した介護サービスの提供に繋がって行くと思えました。

「陽光の園の特徴として、出産・育児を経て再び施設で働いてくれる職員が多い事が挙げられます。子供を産んで一度退職した、又は産休を経てまた陽光の園に戻ってきてくれたのは、どのような経緯や思いがあったんですか？」

**府川** この施設で最初に産休をとったのが私かな。「お家にいるんだったら陽光に来ない？」って当時の園長が言ってきて、そう言うって聞いてもやっぱり迷ったけど。でも職員さんは知っているから働きやすいし、「手助けできるわよ」って言ってくれた。子供って急に熱出たりするから迷惑もいっぱいかけたし、休むことも凄く多かったけどね。「あ

なたが働きやすいように私たち待ってるわよ」って言ってくれる人達がいるって、本当に心強い。陽光に助けてもらったことって私たちいっぱいあるし、仕事だから大変な事も勿論あるけど、とりあえず頑張ってみようかなって気持ちにさせてくれる。だからこそ産休が終わっても復帰してみようかなって思ったの。

**川口** 子育てが落ち着いた時に母と相談して仕事を再開しようって。その時に何にも考えずに「陽光に戻りたい」って思って、正社員だと夜勤もあるけど、義母が「私が子供をみる」って言ってきて、ちょっと大変だったし、子供も可哀想だなって思ったけど頑張っちゃおうかなと。あとさっき府川さんが言ったように、子供が熱を出した、体調が悪くなって急に休むとか早退しても、職員の皆さんが「いいよ、いいよ。こっちは大丈夫だよ」って言ってくれたから、ここまで来れたと思う。



川口 三起子

**府川** 嫌な顔されなかったよね。  
**川口** されなかった。  
**府川** 女性として本当に有難い事だよな。  
**川口** だから私も逆の立場になったらそうしたいって思って、家庭があって仕事出来るから。  
**諸星** 今もその感じは変わってないもんね。職場全体がそんな感じ。  
**本城** 私は妊娠が分かった時から辞めないって決

めてて、介護士の育休が初めてで、その道筋を作って欲しいって言われた。復帰の時は諸星さんのフォローで早番とか遅番とかもなかったのも有難かったかな。

**広報** ライフスタイルが変化しても、職員同士が支え合い助け合う。当たり前ですが、実行するには少し難しい事が今の陽光の園でも受け継がれています。“陽光の園 職員心得”に「人を愛し、万物に感謝し、丸い心であるよう努めます。」という一文があります。これが職員全体に根付き共有し続けた事で、より働きやすい職場環境を構築してきました。

「日々忙しく働いていると思いますが、そんな中で【喜び】ってありますか？」

**川瀬** 最終的には「よかった」とか「ありがとう」とか言われたら、良かったのかなと思う。



川瀬 美紀

**府川** 「あなたでよかった」って言ってもらえると苦労したかいがあったなって。

**本城** 介護士の時はいろんなやりがいがあって楽しかったし、今は相談室でご家族の想いに寄り添える事が出来た時かな。未だに悩む事があるけど、「こういう考えもあるんだな」って自分も勉強になるかな。



本城 裕美子

**川口** ご利用者の方の言葉。「次いつ来るの?」「明日はいるの?」「よかったわ」「もう帰っちゃう

の?」とか言ってもらった時とか、「いい天気だね」とかちょっとした何気ない会話全てかな、そういう時が、仕事をしていてとっても楽しい。だから出来る限り笑顔でいようって思います。

**諸星** 一般職の時は何気ない当たり前だと思ってる事。「足で芝生を歩いていい?」って聞かれて「いいよ」って返したのを亡くなるまで覚えてるとか、何気ないやり取りの中で返してくれたことが一番の喜びだった。今の喜びは職員が楽しく仕事をしている姿かな。あと実習生とか外国人労働者が難しい課題を乗り越えた時の表情とか。立場が変わった分、視点も変わったかなと。人間相手の仕事だから人間の顔に現れる愛情とか「情」が大切な仕事だと思います。

**広報** 働く中で見つける喜びは人それぞれですが、やはりご利用者やそのご家族に頂いた言葉や笑顔が強く心に残り、大きな原動力になることは共通しています。そしてその中からやりがいや喜びを見出し精一杯取り組む事で、“介護”という仕事に誇りを持ちながら日々働いています。忙しい中時間を作って頂き開催した座談会は終始笑い声に包まれ、思い出話にも花が咲いていました。陽光の園が歩んできた歴史の分、職員の様々な思い出がたくさん詰まっています。陽光の園の法人理念は「高齢者に円満・幸福な生活を送っていただくために、うるおいとぬくもりのサービスを総合的、継続的に提供する」です。今後もこの理念を忘れずに、ご利用者が個々に尊重されつつ、穏やかで楽しい生活が送れるように職員一同邁進して参ります。



# ～令和2年度永年勤続表彰職員紹介～

ライフスタイルに合せた勤務形態で15年以上の多年に渡り陽光の園を支えてくれている職員に対して全国老人福祉施設協議会から永年勤続表彰が授与されました。

ご利用者様が安心して安全に陽光の園へ来園出来るよう送迎チームのリーダーとして、また、ご利用者様の為だけでなく職員が働きやすい環境整備や買い物代行等多岐にわたる業務を長年にわたり担ってくれています。顔にたくわえた髭とつぶらな瞳がチャームポイントの陽光の園の頼れるダンディな兄貴分です。



## 大曾根さん

子育てのためや定年の年齢を過ぎてフルタイムの勤務が難しくなっても就労を続けてくれています。介護、医療、送迎等様々な側面で支えてくれているからこそ、ご利用者の安心感のある笑顔を見ることが出来ます。

陽光の吉永小百合こと、加藤さか江さん！介護現場でバワフルに働いてくれています。多くの入居者の笑顔を引き出してくれています。その姿は、職員の笑顔も誘い、現場を明るくしてくれ、職員の励みになっています。



## さか江さん

デイサービスの看護師として、ご利用者の皆様が元気に在宅での生活を続けられるよう、時に優しく時に厳しく介護職と連携しながら健康管理を行うチャーミングな笑顔が素敵な白衣の天使です。また子育てと両立させながら従事する姿は職員の大きな励みとなっています。



## 二見さん

介護職正職員として長きにわたり介護実務を行い、さまざまな資格を取得し、多くの知識と経験のもと、法人の事業運営に貢献してくれています。現在は、洗濯場で衣類の管理などを中心にご利用者をサポートしてくれています。毎朝、欠かさずご利用者に声をかけ、視線を合わせて挨拶をしている姿は、まさに介護職の鏡です！



## 中山さん

持ち前の明るさで多くの入居者の笑顔を引き出すとともに介護実務を長く安定して提供してくれています。その姿勢は多くの職員の励みになっています。後藤さんの周りは笑顔で溢れており、後藤さんがいるだけでその場がパッと明るくなりご利用者も自然と笑顔になります。施設の理念の具現化に寄与してくれています。



## 後藤さん

介護の現場を長い期間に渡って支えてくれています。入浴ケアから日常のケア全般の広い範囲に渡って、入居者の生活の質の向上に取り組んでくれています。その柔和で温かい空気感は、他の誰にも代えることのできない太陽のような存在です。ご利用者はもちろん、職員も皆、美和さんを頼っており、職員の協働体制の推進にも寄与してくれています。



## 美和さん

介護現場で主に入浴業務を長年にわたり携わってくれています。入居者に安心感を与えながら、若い職員の支えにもなってくれています。おちょこちよいな部分がチャームポイントで、周囲の人へ笑顔を創り出してくれています。



## 俊江さん

永年勤続表彰の様子



入浴支援から日常のケアまで介護現場を長く支えてくれています。野崎さんの柔らかい人柄とゆとりのある雰囲気はフロア全体を温かくしてくれています。また、施設内のボランティアとして、陶芸教室を開催してくれており、入居者をたのしませてくれています。作品作りをしている時、また出来上がった作品を通して入居者と楽しい交流してくれています。



## 野崎さん



取り組み  
attempt

多国籍協働で入居者の  
安心・笑顔のために頑張ります



Chapter 1 歴史

長寿会の国際交流は、1970年代から欧米（英国・カナダ・米国）の研究生受け入れから始まり、1985年からは東北亜（韓国・台湾・中国）高齢者研究会を主催、その後も外国施設関係者との相互交流を活発に行ってきました。



1972年  
イギリスから社会福祉の研究に来たソーシャルワーカー



1995年  
第10回東北亜高齢者研究会 北京大会



2015年  
在韓日本人婦人のための老人ホーム慶州ナザレ園訪問



2016年  
台湾実践大学視察団 陽光の園訪問

Chapter 2 外国人職員の受け入れ

- 国が示した基本的視点
- EPA（経済活動の連携強化を目的とした特例的受け入れ）
  - 留学生（介護資格を取得した留学生への在留資格付与）
  - 技能実習生（日本から相手国への技能移転）
  - 特定技能（一定の専門性と技術を持つ人材の受入一人材対策）
- 長寿会は2016年より上記EPAでベトナム人職員の受け入れを開始しました。



ベトナムハノイでの現地面接の様子

日本の介護現状の人材不足の緩和もさることながら、国際貢献や国際交流にも貢献しています。採用後は、日本での生活や就労に慣れていけるように生活基盤の確立支援、コミュニケーション力の向上支援、職場への適応促進・日本の生活習慣の習得、資格習得に向けての研修支援体制を整備しています。

Chapter 3 仕事風景

今では介護職員の一員として日本人介護スタッフと協力してご入居者のケアに当たっています。ご入居者も外国人職員の名前を覚え、にこやかなコミュニケーションができています。



Chapter 4 楽しい様子



Chapter 5 行政の支援



行政も日本語研修等に対する助成事業を実施するなど介護の国際化を進めてくれています。

2019年  
ベトナムハノイで行われた『かながわフェスティバル』の介護ブースにて介護状況を紹介する黒岩神奈川県知事と加藤理事長

Chapter 6 新人職員紹介

トウエン職員  
ベトナムのカインホアから参りました。陽光の園で働いてから1年が経ちました。最初は心配することがいっぱいでしたが、同僚たちに親切に教えてもらったので、仕事にだんだん慣れてきました。介護の仕事は大変だと知られていますが、毎日仕事をしながら一生懸命勉強して頑張ります。

ゴック職員  
ベトナムから参りましたゴックと申します。日本に来てから1年間ぐらいが経って早いですね。あっという間にまだ長い時間ではないけれど、たくさんの仕事や日本語などを色々教えていただいて誠に有難う御座いました。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

イエン職員  
初めまして。私はイエンと申します。ベトナムの中部のダックラックから参りました。利用者さんが楽しい時間を過ごせるように、一生懸命頑張りますのでご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

トウイー職員  
初めまして。私はトウイーと申します。ベトナムから参りました。陽光の園に入社して1カ月ぐらいですが、みんなが親切に仕事を教えてくださったのでだんだん慣れてきました。仕事が大変ですが一生懸命頑張ります。